

令和元年度

第3回在宅医療・介護連携推進協議会

会議録（要旨記載）

日時：令和元年 11 月 28 日（木）午後1時 30 分～

会場：湖西市健康福祉センター3階 小会議室

## 1. 出席者

### 委員

伊藤 健（浜名医師会）  
牛田 知宏（浜名医師会）  
藤田 周子（湖西市医会）  
塩野 州平（浜松市薬剤師会）  
内山 大輔（介護老人保健施設まんさくの里）  
鈴木 織江（浜名病院地域医療連携室）  
夏目志津子（市立湖西病院在宅支援室）  
松井 喜恵（湖西市訪問看護ステーション）  
内藤加代子（地域包括支援センター湖西白萩）  
浅井 恵子（ケアプランセンター陽菜）  
稲本 直子（サンシティあらい）  
吉田 朝子（湖西市社協介護センターこさい）  
山下いづみ（浜松市医師会 在宅医療推進員）

### 事務局

石田 裕之（長寿介護課課長）  
荻野 敏明（長寿介護課課長代理）  
中西 歩（長寿介護課主査）  
白井まり子（在宅医療・介護連携支援センター相談員）  
小野田健児（健康増進課課長代理）

## 2. 会議次第

1. 開会 挨拶

2. 議事

(1) 市民への在宅医療講演会について・・・資料1

(2) 湖西市版エンディングノートについて(途中経過報告)

(3) 在宅医療データベース調査結果について

(4) 湖西市の地域医療の状況・・・資料2

(5) 令和2年度多職種連携研修会計画について・・・資料3

(6) その他

3. 次回案内

次回2月20日(木)(又は2月27日(木)) 予定

### 3. 会議内容(要旨記載)午後1時30分開会

1 開会あいさつ	長寿介護課長) お礼及び挨拶。浜名医師会、エーザイ株式会社と「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」を10月に締結について。
2 議事 (1) 市民への在宅医療講演会について	<p>伊藤会長) 早速、議事に入ります。牛田委員より説明お願いします。</p> <p>牛田委員) 在宅医療講演会について、事例を挙げ、それにサービスの解説を付ける内容で実施する方向で前回の協議会で話しあった。骨折・認知症・末期がんの3例を挙げ、サービスの説明を盛り込んでいくか、1例を挙げて、その流れを説明する中でサービスに触れていくという案をたたき台として考えてきた。3例実施するには時間が足りないかとも思うが、もし3例でいくならば、簡単な流れを説明し、それぞれにおいて1つずつ在宅サービスを絞って説明を入れていくという内容になる。1例を挙げる場合は、例えば、がんの末期の場合、講師がメインで説明する中で、退院時のカンファレンスからケアマネ、訪問看護、訪問入浴などサービスの解説を入れていくという案です。</p> <p>松井委員) 入院していた方が、どのように在宅に戻られるか、一連の流れが分かると市民も安心されると思う。退院前には、医師やリハビリ、看護師が参加した退院カンファレンスが開かれ、安心して家に帰れる。また家では、往診医、訪問看護、リハビリ、入浴サービスなどが入り支援するという流れで説明すると分かりやすいと思う。対象は一事例、認知症でも癌でも良いと思う。</p> <p>夏目委員) 病院では、どうやって家に帰ればいいのかと不安を訴えるご家族も多いので、一つの事例をしっかりと伝えて、いろいろな人が相談に乗ってくれ助けてくれるということが分かれば安心していただけるのではないかと思います。</p> <p>内藤委員) がん末期の方で入院している時にこのような話し合いがしっかりできず、在宅に戻り困ってしまう事例があったので、末期がんで退院から在宅に帰る事例が良いと感じた。ただ、包括で関わっている方を見ると、実際にその立場にならないとこのようなところに目が向かないのも事実。その前置きが何か必要ではないか。例えば、ポスターや案内に「今はこういう時代に入っている、これからこのようなことが起こってくる」ということを入れ分かってもらった上で講演に入った方が理解しやすいと思う。ターミナルの重要性を感じている。</p> <p>鈴木委員) どのような事例でも、入院し退院した時にはサポートしてくれる方々や相談窓口があるということを知っていただくのがいいと思う。ACPのこともあるので、ケースの中で家族と本人の意向が合わ</p>

ず困ったという内容もいれ、エンディングノートにつなげるなど事前に家族と話し合っていくことの大切さを伝えるのもよいと思った。

山下委員) 浜松市では、認知症の講演会とロコモの講演会を両方開催する予定だが、毎年、認知症の講演会の参加者が多いが今年はロコモの講演会の申込みが多かった。市民の関心がどこにあるのかと分かりきれない状況。在宅のことを推進していくということであればそれでよいが、暗いことよりも明るいイメージを出せるような方法があると思う。

伊藤会長) 今回は、症例を絞って実施していきたいと思う。

藤田委員) 参加者がどのような目的で来るかということであると思う。自分が病気やその状況になってしまったら、在宅で暮らしていけるのかと講演会に興味を持つ方が多いと思う。病院から在宅へという流れを入れることはいいと思う。また、自分の身に降りかかりそうな題材にすると自分のこととして考えてくれる。がん末期の事例だと特殊な例と思ってしまわれぬか。認知症や骨折などよくありがちな例を挙げた方が身近に感じてくれるのではないか。

塩野委員) どのような方に来てほしいのか。昨年はどのような方が来たのか、広報の仕方によっても疾患の事例が絞られてくるのではないか。末期がんはまれなケースのため、骨折か認知症のテーマに絞った方がよいと思う。また、市民に関心のあるのは、病気になったらどこの病院に受診するのかということだと思う。市民が気にしているのは湖西病院がどのような地域医療、連携を目指しているのかを知りたいということがあるのではないか。湖西病院をテーマにした内容はいかがか。

伊藤会長) 市民の関心は高まりそうだが、協議会の主旨と異なる為、病院で対応いただきましょう。

内藤委員) 本人を主体として考えた場合、自分が病気になった場合どのように病院を退院し、どうなっていくか想定できる内容となるといい。ACPにもつながる。イメージしやすい骨折が分かりやすいし、予防としてロコモの内容も入れ介護予防の話もできると思う。

内山委員) 骨折は意外と回復しやすいというイメージがあるが認知が絡むと骨折が回復しても家に帰れないということがある。家族のことを考えると認知症なのかなと思ったが本人と考えると骨折というテーマの方がいいのかと思う。

牛田委員) 今年度の内容をお話しているのですが、いろいろご意見も出ているので、来年度の話ですが、入門編と応用編等2回実施してはどうか。まずは、今年度どうするか話し合わなければいけません。

	伊藤会長) 今年度は、骨折というご意見が多いのでテーマを「骨折」とします。
(2) 湖西市版エンディングノートについて	<p>伊藤会長) 議事の2に移ります。湖西市版のエンディングノートについて事務局お願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>湖西市独自ページにシズケア・かけはしの PR 内容を追記。</p>
(3) 在宅医療データベース調査結果について	<p>伊藤会長) 議事3について。事務局お願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、データをまとめたものを各事業所に配布し最終確認を行っている状況。</li> <li>・お助けブックについて、年号の変更、シズケアかけはしについて追加、サービス事業所の追加、削除あり。</li> </ul>
(4) 湖西市地域医療の状況	<p>伊藤会長) 次に議事4について。健康増進課お願いします。</p> <p>(事務局説明)      資料2 参照</p>
(5) 令和元年度多職種連携研修会の計画について	<p>伊藤会長) では、議事5について。塩野委員お願いします。</p> <p>塩野委員) 前回の協議会で年4回、7月からの開催が良いという意見があった。今年度は3回だったが、まず4回に増やした方がいいか検討したい。それにあたっては医師会の方で予算の都合もあるかと思うがいかがか。</p> <p>牛田委員) 来年度に関しては増額する方向で請求はしている。テーマに関しては認知症について聞きたいという希望がある。この事業については浜名医師会への委託事業の予算となるが、認知症の研修会でサポート医が講師になるとなれば市の認知症対策の予算で賄えるのか。また、講師をどのクラスで呼び出すのかで講師料など変わってくる。内容にもよるか。</p> <p>伊藤会長) 来年度は、4回開催を予定しているということだが、ケアマネは、研修が多いと聞いているがいかがか。</p> <p>内藤委員) 秋以降、研修は集中する傾向にある。</p> <p>伊藤会長) 4回実施するという予定でいるが、内容によって3回になるかも知れない。</p> <p>山下委員) どんなテーマでどんな研修かによっても、3回でいいのか、深めたいので4回の方がいいのか変わってくることもあるかと思う。</p> <p>塩野委員) 来年度のテーマについては、前回の研修会のアンケートで、</p>

<p>(6) その他</p>	<p>終末期の話、褥瘡、認知症の希望が多かった。そのほか、他地域の多職種連携の成功例、コミュニケーションについての希望があった。まず、認知症については、何かあった時にも相談しやすい関係を作るためにも地域のサポート医の先生にお話しいただきたいと思う。また、介護系の話も一コマ入れたらいかがか。介護系については、介護職の方々に、だれが担当するのか、どんな内容にするのか考えていただき、場所の設定等は、こちらで行うなど分担して計画していきたいと思う。他の地域で活発に活動されている先生を講師としてお招きしてはどうか。</p> <p>藤田委員) 先ほどの内藤委員の事例等を挙げ、グループワークをするのもいいと思う。</p> <p>伊藤会長) 今年せっかく ACP を学んだのでそれを活用した研修としてグループワークもいいかもしれませんね。</p> <p>内藤委員) 認知症初期集中支援チームを皆さんあまり知っていただいていないと思いますので、チームがどのような活動をしているのか、ケースがどのように動いたのか知っていただくのもよいと思う。</p> <p>伊藤会長) では、サポート医や認知症初期集中支援チームの活動報告を認知症についてというテーマの中で実施するという勉強会を7月に行うということではいかがでしょうか。</p> <p>塩野委員) ではそれ以降の研修会は2月の協議会で決めていくということではよろしいでしょうか。</p> <p>事務局) 3回開催でも、4回開催でも、1回目は7月に実施ということではよろしいでしょうか。</p> <p>伊藤会長) 7月ということではいいですね。</p> <p>山下委員) 先ほど、認知症の事業について市直営で行っているという話があったが。</p> <p>事務局) 市で行っている研修は認知症予防について、認知症の方への支援についての研修会は多職種研修会で実施していく方向で考えている。また、多職種研修会で毎回行政説明をしているが、研修会の時間もあまりないということで、行政説明と、ワンポイント情報を交互に行っていくということではいかがか。</p> <p>伊藤会長) 時間もあまりないのでよろしいですね。</p> <p>事務局) 次回開催について2月20日(木)を予定している。</p> <p>伊藤会長) 令和元年度第3回在宅医療介護連携推進協議会を終了する。</p>
----------------	---